

海外デスク紹介



メキシコ/レオンデスク



レオンデスク（松本）

メキシコデスクは現在日本人2名、メキシコ人10名の体制で運営しています。オフィスはメキシコの中央部、グアナフアト州の最大の都市であるレオン市に所在しており、同州を含む中央高原地域には、自動車関連の製造業を中心とした日系企業が多数進出しています。

言語、文化の異なる国で、半導体供給不足等、不透明な状況も残る中、日々奮闘されている浜松市企業の皆様のお力になれるよう、メキシコデスクスタッフ一同全力でサポートさせていただきます。

よくあるご質問

Q：メキシコでは労働者の保護が手厚い、という話をよく聞きますが、労働者保護のための制度の代表的な例を教えてください。

メキシコでは、企業は課税所得がプラスとなった場合、30%の法人税負担に加え、10%を労働者利益分配金（PTU）として、労働者に配賦する法律上の義務を負っています。また、毎年12月には、企業の利益の水準にかかわらず、12月20日までに各従業員の日給の最低15日分をクリスマスボーナス（Aguinaldo）として支給することが義務付けられる、といった制度もあります。メキシコ法人の事業計画を策定される際には、これらの負担も考慮に入れていただくことが必要になります。

Point!!



浜松市海外サポートデスクには日本人の専門家が常駐しておりますので、日本語でのお問い合わせ・ご相談が可能です。
現地の最新の情報や、お困りごと等があればお気軽にご相談ください。